

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ来さまい館、むつ下北観光物産館、むつ市イベント広場		
指定管理者	団体名	むつ商工会議所	
	代表者	会頭 其田 桂	
	所在地	むつ市小川町2丁目11-4	
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）		
指定管理業務の概要	<p>(1) むつ来さまい館</p> <p>ア 産業の振興、中心市街地の活性化及び市民等の交流促進に関する事業。</p> <p>イ 地域振興に関する資料の収集、保管及び利用並びに情報の発信に関すること。</p> <p>ウ 館の施設提供に関すること。</p> <p>エ アからウまでに掲げるもののほか、館の設置目的を達成するために必要な業務。</p> <p>(2) むつ下北観光物産館</p> <p>ア 観光施設の案内、宿泊施設の紹介その他の観光情報の収集及び提供に関すること。</p> <p>イ 地場製品の展示並びに情報の収集及び提供を行うこと。</p> <p>ウ 電気自動車急速充電設備利用者の受付、案内及び設備周辺の除雪等に関する業務</p> <p>エ その他観光・物産充実振興上必要な業務。</p> <p>(3) むつ市イベント広場</p> <p>ア 市民の文化活動、休憩、集会等の用に供すること。</p> <p>(4) 上記のほか、各施設に共通する業務</p> <p>ア 各施設の使用許可または使用の制限に関する業務。</p> <p>イ 各施設の使用に係る利用料金収受に関する業務。</p> <p>ウ 各施設の維持及び修繕に関する業務。</p> <p>エ その他、各施設の管理上必要な業務。</p>		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区分	計画額①	実績額②	増減(②-①)
収入合計(A)	71,167	72,260	1,093
うち利用料金額	12,280	12,053	△227
うち指定管理料	58,787	58,787	0
支出合計(B)	68,367	67,663	△704
うち人件費	26,950	26,406	△544
収支差(A-B)	2,800	4,597	1,797
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>物産館及びイベント広場の利用額は落ち込んでいる。定期的に使用していた団体の減少などが理由にあげられる。</p> <p>一方、来さまい館の利用額は増加している。セミナーや新規のサークルなどの利用が増えているのが一因といえる。</p>		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	むつ来さまい館	85,000	75,534	△9,466
	むつ下北観光物産館	25,000	15,136	△9,864
	むつ市イベント広場	50,000	41,316	△8,684
利用者数について				
<ul style="list-style-type: none"> ・来さまい館 貸室が重なり、お断りした団体も多かった。 ・観光物産館 貸室利用者、売店利用者共に減少。 ・イベント広場 利用の減少に伴い利用者も減少。個人販売などでの利用も減少。 				
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ）				
【利用者の声】				
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に会場の設営を行ってくれるので、準備に手間取ること無く便利だ。 ・付帯設備、備品使用の追加料金がないので使用しやすい。 ・当日でも部屋が空いていれば使用できる。 ・利用形態や人数に合った貸し室やレイアウトなども提案していただき、参考になる。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、円

	事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
1	フリーマーケット	3,600	261,000	0
2	文化展 ※詳細は下部記載	5,240	0	0
3	体験館	1,431	27,600	76,323
4	郷土芸能公演会	264	0	178,588
5	ジャズライブ	118	240,500	648,519
6	ふれあいフェスタ&ハンドメイドマルシェ	1,000	60,600	275,504
7	ふるさと公演（板橋かずゆきライブ）	150	0	124,735
8	飲食楽祭	1,000	19,400	190,994
9	ハロウィンイベント	1,200	192,200	325,214
10	イルミネーション点灯式	150	17,200	73,057
11	冬まつり	600	0	107,973
12	来さまい橋通り装飾事業	—	0	794,880
13	音楽活動支援事業	23	77,000	23,220
14	路線バス定期・回数券販売	742	133,784	0
15	レンタサイクル事業	271	0	23,914
16	むつおもちゃ病院活動支援事業	290	0	0
※文化展詳細				
1	むつ盆栽会展示会	200	0	0
2	下北ジオパーク写真展	1,410	0	0
3	手作りライフ～わたしの逸品～	750	0	0
4	水彩画サークル海作品展	420	0	0
5	密漁防止絵画コンクール展示（協力）	390	0	0
6	大湊高校田名部高校美術部合同作品展	840	0	0
7	創作ちりめん雛人形展	750	0	0
8	うみね工房作品展	480	0	0
	合計	16,079	1,029,284	2,842,921

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	A
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	A
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	A
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	A

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

<p>(1) 施設設置目的にあったサービス向上にかかる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設特別清掃（休館）や業者点検等を、利用者に影響の少ない時期や時間帯で実施しました。 ・貸室案内の表記を手書きからモニターに変更し、見やすくなりました。 ・常連のお客様から利用の利便性について伺う機会はあるけれども、アンケートを実施するまでには至りませんでした。 <p>(2) 利用促進に関する取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS（フェイスブックやブログ）での情報周知、玄関のモニターに館内の様子や催事案内を流し、情報の提供に努めました。 ・自主事業では市内で活動する団体と積極的にコンタクトを取り、協力して企画運営に努めました。 ・冬季イベントを開催し、落ち込みがちな冬期間の集客が見込めるよう努めました。 <p>(3) 効率性の向上に関する取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多大な修繕については、所管課と協議のうえ計画的に見直しをはかり施設管理に努めました。 ・軽微な修繕については、職員で対応できるものは適宜行い、快適性の向上に努めました。 ・観光モニター、接客対応セミナー等に職員が積極的に参加し、資質向上に努めました。

(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組状況

- ・机やイスなど備品の補修は適宜行い、利用者の快適性の向上に努めました。
- ・展示スペース等の見回りを一定時間毎に行い、破損や物品の紛失がないかどうか確認しました。
- ・利用者の様々な要望に応えるべく、備品の補充、充実を図りました。

(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取り組み状況

- ・施設利用者間の希望を聴取し時間や使用備品の調整など、平等な利用ができるよう配慮に努めました。
- ・利用者には備品や設備の使用方法などを説明し、必要であれば職員が対応する等、適正・安全に使用いただけるように努めました。
- ・災害時の対応について、避難訓練時に連絡方法や各自の役割を確認し、迅速に対応できるよう備えました。

7. 市の所管課総合評価 ④市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

(1) 施設設置目的にあったサービス向上にかかる取り組み

- ・清掃、点検の実施時期の検討や、案内モニターの設置など利用者への配慮に努めていると評価するが、利用者アンケートが未実施であるため改善の余地があるものとする。多様化する利用者ニーズを踏まえたサービスの向上を期待する。

(2) 利用促進に関する取り組み状況

- ・SNSを活用した情報提供により各種イベント等の周知に努めており、また、田名部まちづくり(株)との連携事業により新たに定期講座を実施するなど、施設の利用促進に努めていると評価する。来さまい館にオープンした「AGASSE来さまい」の周知も含め、更なる集客に向けた取り組みを期待する。

(3) 効率性の向上に関する取り組み状況

- ・昨年度より指定管理経費が節減されているのに対し、観光物産館のコンタクトセンター開設や来さまい館2階のリニューアルなどにより、収入増が図られていることを評価する。

(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組状況

- ・担当課と協議の上、軽微な修繕から大規模修繕に至るまで計画的に対処しており、適切に施設管理が行われていると評価する。

(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取り組み状況

- ・施設利用情報提供や個人情報保護への配慮および防犯、防災対策の危機管理体制は適切であると評価する。